

資料3

I ③ 経営健全化計画の実施状況報告の概要について

○経営健全化計画の実施状況の報告を行った公営企業会計の団体名・会計名

事業区分	都道府県名	市区町村名	会計名	概要掲載ページ数
水道事業	北海道	釧路町	水道事業会計	1
簡易水道事業	鹿児島県	屋久島町	簡易水道事業会計	2
		瀬戸内町	簡易水道事業会計	3
交通事業	北海道	苫小牧市	自動車運送事業会計	4
	青森県	八戸市	自動車運送事業会計	5
	愛知県	名古屋市	自動車運送事業会計	6
	京都府	京都市	高速鉄道事業特別会計	8
			自動車運送事業特別会計	10
	佐賀県	佐賀市	自動車運送事業会計	12
	熊本県	熊本市	交通事業会計	13
	鹿児島県	屋久島町	船舶事業特別会計	15
		瀬戸内町	船舶交通事業特別会計	16
病院事業	北海道	美唄市	病院事業会計	17
		赤平市	病院事業会計	18
		深川市	病院事業会計	19
		由仁町	病院事業会計	20
	青森県	板柳町	国民健康保険板柳中央病院事業会計	21
		鶴田町	病院事業会計	22
		公立金木病院組合	病院事業会計	23
		一部事務組合下北医療センター	病院事業会計	25
	兵庫県	三木市	病院事業会計	27
市場事業	北海道	釧路市	公設地方卸売市場事業会計	29
	大阪府	大阪市	中央卸売市場事業会計	30
	山口県	岩国市	市場事業特別会計	32
と畜場事業	徳島県	徳島市	食肉センター事業特別会計	33
宅地造成事業	青森県	青森県新産業都市建設事業団	桔梗野工業用地造成事業会計	35
			金矢工業用地造成事業会計	37
			百石住宅用地造成事業会計	38
	奈良県	奈良市	宅地造成事業費特別会計	40
	鳥取県	米子市	流通業務団地整備事業特別会計	41
	香川県	坂出市	坂出港港湾整備事業特別会計	42

○経営健全化計画の実施状況の報告を行った公営企業会計の団体名・会計名

事業区分	都道府県名	市区町村名	会計名	概要掲載 ページ数
下水道事業	青森県	黒石市	下水道事業会計	43
		田舎館村	下水道事業会計	44
	和歌山県	白浜町	下水道事業特別会計	45
観光施設事業	青森県	弘前市	岩木観光施設事業特別会計	46
		黒石市	温泉供給事業特別会計	47
			観光施設事業特別会計	48
		大鰐町	温泉事業特別会計	49
			休養施設特別会計	50
	石川県	白山市	観光事業特別会計	51
	奈良県	奈良市	針テラス事業特別会計	52
		宇陀市	保養センター事業特別会計	53
	和歌山県	串本町	国民宿舎事業会計	55
	山口県	美祢市	観光事業特別会計	57
高知県	高知市	国民宿舎運営事業特別会計	58	
その他事業	北海道	釧路市	釧路市設魚揚場事業会計	59

北海道釧路町 水道事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、概ね当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A		88,781	88,601	346,149
解消実績額 B		97,474	—	—
現在計画 C		97,474	84,515	342,649
B-A 又は C-A		8,693	△4,086	△3,500
資金不足額	610,189	512,715	428,200	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	207.9	178.9	174.6	150.4	—	0.0

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 釧路町再生緊急プランの進捗管理状況と整合性を図っている。

鹿児島県屋久島町 簡易水道事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(165,000千円)
- ・水道課職員の1名減による人件費の削減。
- ・施設修繕の直営化による経費削減。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)
当初計画 A		49,418	52,378
解消実績額 B		62,339	—
現在計画 C		62,339	52,378
B-A 又は C-A		12,921	0
資金不足額	136,580	74,241	21,863

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	51.4	34.0	28.5	13.6	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・安定した事業運営を行うため、施設整備に係る長期計画の策定に取り組む。
- ・経営健全化計画の点検と見直しに取り組む。

鹿児島県瀬戸内町 簡易水道事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・平成 21 年 10 月の料金改定により 2,000 千円の収入増。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画以上に実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)
当初計画 A		15,677	16,222	9,790	12,374
解消実績額 B		33,078	—	—	—
現在計画 C		33,078	16,548	10,032	12,489
B-A 又は C-A		17,401	326	242	115
資金不足額	88,255	55,177	38,629	564	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	140.8	114.2	86.2	87.3	31.3	11.4

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・水道使用料の徴収率の向上を図るため、口座振替の推進を図っている。

北海道苫小牧市 自動車運送事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、概ね当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		63,910	29,635	64,118
解消実績額 B		80,221	—	—
現在計画 C		80,221	28,093	64,118
B-A 又は C-A		16,311	△1,542	0
資金不足額	309,410	229,189	201,096	136,978

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	33.4	28.0	25.9	25.8	—	19.4

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 職員に対し、経営健全化に向けた意識改革に努めている。
- ・ 正規運転手の配置転換及び委託拡大について、労働組合の理解と協力を得て進めている。
- ・ 市民のニーズや利便性を考慮しながら、効率的な路面の確保に努めている。

青森県八戸市 自動車運送事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 組織、定員及び給与については、当初計画どおり正職員の退職者不補充を実施（臨時職員で補充）。
- ・ 料金その他の収入については、新たな運賃制度、広告収入の増収対策、サービス向上について検討。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。
- ・ 経営基盤の強化については、3事業者共通バスマップの発行、路線ナンバリングの設定、路線再編、一部路線の等間隔ダイヤ化等を実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A		126,430	49,596	253,701
解消実績額 B		186,834	—	—
現在計画 C		186,834	49,597	255,537
B-A 又は C-A		60,404	1	1,836
資金不足額	884,600	697,766	648,169	12,437

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	66.9	60.6	55.1	59.4	7.1

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

愛知県名古屋市 自動車運送事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 資金不足額：平成21年度の実績額100億円（計画額114億円）。
- ・ 資金不足比率：平成21年度の実績値53.6%（計画値61.0%）。
- ・ 経営健全化方策の効果額：平成21年度の実績額22億円（計画額8億円）。
- ・ 収入増加方策
 通学などの固定的利用者の拡大や買い物・行楽など自由目的利用者の拡大を図るため、通学要件を緩和した学生定期券の新設や「年末年始特割ドニチエコきっぷ」の販売など乗車券サービスの向上を図るなど、積極的な乗客誘致に努めたことにより、効果額は、実績では1億円となった。
- ・ 支出抑制方策
 民営事業者と遜色のないコスト体質を維持するため、給与カットの継続、生涯賃金で約20%の減となる給料表の適用、管理の委託の拡大をはじめとした人件費の抜本的な効率化や、自動車燃料費をはじめとした経費の節減などに努めたことにより、効果額は、12億円となった。
- ・ 経営基盤安定化方策
 保有していた株式の売却を行ったことなどにより、効果額は、9億円となった。

2 資金不足額解消の状況

(単位：億円)

区分 \ 年度	計画初年度の 前年度	平成21年度 (計画初年度)	平成22年度 (第2年度)
当初計画 A		△9	28
解消実績額 B		5	—
現在計画 C		5	28
B-A又はC-A		14	0
資金不足額	105	100	72

区分 \ 年度	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)
当初計画 A	9	4	5
解消実績額 B	—	—	—
現在計画 C	9	4	5
B-A又はC-A	0	0	0
資金不足額	63	59	54

区分 \ 年度	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
当初計画 A	2	11	16
解消実績額 B	—	—	—
現在計画 C	2	11	16
B-A又はC-A	0	0	0
資金不足額	52	41	25

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 \ 資金不足比率	計画初年度の 前年度	平成21年度 (計画初年度)		平成22年度 (第2年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	55.3	61.0	53.6	44.9

年度 \ 資金不足比率	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	39.6	37.7	35.1

年度 \ 資金不足比率	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	34.1	28.0	19.9

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ お客様サービスの向上
 アイドリング・ストップ付低公害ノンステップバスを購入するなど、安心・安全で快適なサービスの提供に努めた。
- ・ 活力ある職場づくり
 職員表彰や職員提案制度の実施などにより、職員がいきいきと働くための職場づくりに努めた。

京都府京都市 高速鉄道事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・収入増加策については、ダイヤの改善、沿線のイベント開催や案内の強化、駅ナカビジネスの拡大などを、全市的なマイカーから公共交通への転換の取組と合わせて、計画どおり実施。
- ・コスト削減策については、総人件費の削減、高金利建設企業債の借換えなどを計画どおり実施。
- ・一般会計支援等の拡充については、一般会計から経営健全化出資及び東西線三セク区間の直営化に伴う出資を計画どおり繰入れ。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A		1,728,774	137,596	2,590,235	3,870,569	4,565,994
解消実績額 B		4,554,145	—	—	—	—
現在計画 C		4,554,145	137,596	2,590,235	3,870,569	4,565,994
B-A 又は C-A		2,825,371	0	0	0	0
資金不足額	30,981,281	26,427,136	26,289,540	23,699,305	19,828,736	15,262,742

年度 区分	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)
当初計画 A	1,301,953	6,074,202	5,234,430	Δ1,221,975	6,699,503
解消実績額 B	—	—	—	—	—
現在計画 C	1,301,953	6,074,202	5,234,430	Δ1,221,975	3,874,132
B-A 又は C-A	0	0	0	0	Δ2,825,371
資金不足額	13,960,789	7,886,587	2,652,157	3,874,132	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	133.5	126.8	114.5	125.7	114.0

年度 資金不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	96.9	73.6	66.6	41.5

年度 資金不足比率	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	20.7	24.7	—

京都府京都市 自動車運送事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・収入増加策については、増客に向けた系統・ダイヤの編成、定時性の向上、バス待ち環境の向上などを、全市的なマイカーから公共交通への転換の取組と合わせて、計画どおり実施。
- ・コスト削減策については、総人件費の削減、バス車両の更新年数の延伸などを計画どおり実施。
- ・一般会計からの補助金については、生活支援路線補助金、市バスの購入費に対する補助金の削減を計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		1,616,994	232,748	827,000
解消実績額 B		2,797,389	—	—
現在計画 C		2,797,389	232,748	827,000
B-A 又は C-A		1,180,395	0	0
資金不足額	11,382,717	8,585,328	8,352,580	7,525,580

区分 \ 年度	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A	1,221,000	1,878,000	1,761,000	1,288,000
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	1,221,000	1,878,000	1,761,000	1,288,000
B-A 又は C-A	0	0	0	0
資金不足額	6,304,580	4,426,580	2,665,580	1,377,580

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	59.7	52.5	45.9	50.2	45.7

年度 資金不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	39.4	29.4	20.1	13.4

佐賀県佐賀市 自動車運送事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 給与支給額の抑制については、当初計画どおり実施。(平均 10%カット)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A		△1,361	151,321	141,673
解消実績額 B		43,042	-	-
現在計画 C		43,042	151,321	141,673
B-A 又は C-A		44,403	0	0
資金不足額	659,057	616,015	464,694	12,728

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率 \ 年度	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	101.0	103.8	95.0	77.6	-	8.5

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 計画内容を市民に広く周知するため、市及び交通局のホームページに経営健全化計画を掲載するとともに、市の広報誌に概要を掲載。

熊本県熊本市 交通事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・バス事業の移譲。(H21年4月：本山営業所管轄7路線を移譲)
- ・利用促進に向けた取り組み。(利用者ニーズ把握のためのアンケート調査、商店街等と連携した電車・バス割引券の発行等)
- ・経営の合理化。(338人から299人へ職員削減、管理職手当の10%カット、特殊勤務手当の全廃、委託業務の契約方法の見直し等)
- ・経営基盤の強化。(本山営業所用地及び長溝回転用地の売却、バス事業の移譲先へバス車両36両の売却、「経営健全化補助」を新設し一般会計からの支援を拡充等)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成21年度 (計画初年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		542,387	652,455	324,332
解消実績額 B		608,409	—	—
現在計画 C		608,409	652,455	324,332
B-A 又は C-A		66,022	0	0
資金不足額	5,533,795	4,925,386	4,272,931	3,948,599

年度 区分	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画 A	380,815	987,495	677,713	1,883,751
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	380,815	987,495	677,713	1,883,751
B-A 又は C-A	0	0	0	0
資金不足額	3,567,784	2,580,289	1,902,576	18,825

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	198.2	206.2	202.1	182.1	—	171.1

年度 資金不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	156.8	117.9	104.8	4.7

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 資金不足比率を経営健全化基準未滿とするための方策に係る実施プログラムシートの作成。

鹿児島県屋久島町 船舶事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(40,000千円)
- ・ 経費削減に向けた取組として、船舶運営委員会を開催し、ダイヤ改正について協議。
- ・ 経営努力により、事業収入が前年度比で930万円増加。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成21年度 (計画初年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A		16,607	19,758	20,225	25,293
解消実績額 B		53,376	—	—	—
現在計画 C		53,376	19,758	11,385	—
B-A 又は C-A		36,769	0	△8,840	△25,293
資金不足額	84,519	31,143	11,385	—	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	平成21年度 (計画初年度)		平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	177.2	146.4	54.6	103.8	60.2	5.8

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 資金不足の早期解消を図り、今後は新船建造に向けた基金積立とともに新船建造委員会を設置する予定。
- ・ 年度ごとに計画の進捗状況の点検・見直しを行い、経営健全化を着実に推進する。

鹿児島県瀬戸内町 船舶交通事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 収入増加を図るための利用促進に向けた取組みとして、加計呂麻島で各種イベントを開催。
- ・ 平成 22 年度における（仮称）瀬戸内町船舶交通事業運営委員会の設置に向け、役場内で検討会を実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。（10,000 千円）

2 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A		11,256	24,467	33,810	33,052
解消実績額 B		70,389	-	-	-
現在計画 C		70,389	30,354	-	-
B-A 又は C-A		59,133	5,887	△33,810	△33,052
資金不足額	98,906	28,517	-	-	-

3 資金不足比率の状況

（単位：％）

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	82.9	72.5	23.4	51.2	23.8	-

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 計画の進行管理として、決算の数値等を用いて検証・評価を実施。

北海道美唄市 市立美唄病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A		12,769	△87,160	373,920
解消実績額 B		37,901	—	—
現在計画 C		37,901	△87,160	373,920
B-A 又は C-A		25,132	0	0
資金不足額	1,492,513	1,454,612	1,541,772	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	134.0	115.8	113.6	120.1	—	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 市民に信頼される病院づくりについては、概ね計画どおり実施。
- ・ 経営形態の見直しについては、計画どおり実施。

北海道赤平市 赤平市病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画より前倒しで実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)
当初計画 A		168,791	△29,512	256,542
解消実績額 B		427,806	—	—
現在計画 C		427,806	△29,512	256,542
B-A 又は C-A		259,015	0	0
資金不足額	1,400,741	972,935	1,002,447	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	81.2	67.1	51.0	68.9	—	11.6

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 公営企業法の全部適用について引き続き検討。

北海道深川市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 委託業務の見直しについては、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A		△138,000	△2,000	203,000
解消実績額 B		△66,082	—	—
現在計画 C		△66,082	△2,000	203,000
B-A 又は C-A		71,918	0	0
資金不足額	1,543,168	1,609,250	1,611,250	611,250

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	41.1	47.9	45.1	46.2	—	18.5

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

北海道由仁町 国民健康保険由仁町立病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A		72,112	77,100	73,700
解消実績額 B		73,683	—	—
現在計画 C		73,683	77,100	73,700
B-A 又は C-A		1,571	0	0
資金不足額	441,461	367,778	290,678	47,478

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	135.1	106.9	105.3	84.3	—	13.6

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 職員の経営意識の向上については、概ね当初計画どおり実施。

青森県板柳町 国民健康保険板柳中央病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費の抑制については、当初計画どおり正職員の退職不補充（看護師は臨時職員で補充）を実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画	A		72,975	59,984	66,371
解消実績額	B		80,136	—	—
現在計画	C		80,136	59,984	66,371
B-A 又は C-A			7,161	0	0
資金不足額		468,071	387,935	327,951	137,260

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
	計画初 年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	63.2	52.3	52.0	44.9	18.9

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 収入確保のため、脳卒中や心筋梗塞予防に有効な超音波診断装置による検査推進、弘前大学医学部附属病院と患者の相互紹介など機能連携推進。
- ・ 経費節減のため、治療薬品の契約方法の見直しを実施、蓄積血糖値測定業務を委託から院内実施に切替え。
- ・ 棚卸資産の適正在庫管理のため、電算システムの見直しなど検討中。
- ・ 細やかな患者サービス提供のため、待ち時間の目安がわかるよう診察状況の情報をモニター表示、町福祉部門や関係機関と連携強化。

青森県鶴田町 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 病院事業収支の改善については、当初計画どおり常勤医師の確保及び院外処方を実施。(平成 22 年 4 月から外科医師 1 名確保。平成 21 年 11 月から一部院外処方を開始。)
- ・ 人件費については、医療技術員の退職不補充、臨時看護師の職員数削減の実施により削減されたが、近年の看護師不足の状況から、正職員看護師の採用は当初計画より 1 人増となった。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A		61,000	52,000	479,198
解消実績額 B		66,991	—	—
現在計画 C		66,991	52,000	473,207
B-A 又は C-A		5,991	0	△5,991
資金不足額	749,198	682,207	630,207	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	61.7	62.4	63.7	56.6	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 個別外部監査で指摘を受けた会計処理について改善した。

青森県公立金木病院組合 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 集中カルテ方式の採用については、検討の結果中止とし、医師確保により医師充足率の向上を目指す（平成 22 年 10 月から医師 1 名確保）。
- ・ 診療単価の増については、加算取得等により外来の診療単価が増加。
- ・ その他の増収策については、当初計画どおり平成 21 年 5 月から文書料及び病衣料の改定を実施したほか、査定減額も前年度より減少。ただし、在宅リハビリテーションの件数は当初計画に未達。
- ・ 人件費の抑制については、当初計画どおり給与カットを継続。
- ・ その他の経費節減策については、当初計画どおり委託契約内容の見直し及び材料費の適正購入を実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A	/	△109,542	24,890	1,334,248
解消実績額 B	/	△124,917	—	—
現在計画 C	/	△124,917	24,890	1,334,248
B-A 又は C-A	/	△15,375	0	0
資金不足額	1,247,386	1,372,303	1,347,413	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	88.8	95.0	95.6	94.5	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 医師確保定着対策については、各方面へ働きかけを行い、平成 22 年 10 月から医師 1 名を確保。
- ・ 自治体病院機能再編成への対応については、平成 25 年度の再編に向けた準備を進めている（医療機能の詳細検討、再編に伴う事務処理や検討項目の抽出など）。
- ・ サービス向上対策については、接遇をはじめ機械操作や医療知識等のテーマで積極的に院内の勉強会を開催。

青森県一部事務組合下北医療センター 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

【むつ総合病院】

- ・ 第五次病院事業経営健全化により平成 20 年度までに講じてきた収益確保及び費用削減策を、当初計画どおり継続して実施。

【むつリハビリテーション病院】

- ・ 一般会計からの繰入れにより、当初計画どおり平成 21 年度末で資金不足解消。

【川内診療所】

- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画よりも増額して実施。
- ・ 委託料については、当初計画どおり節減を実施(診療報酬情報入力業務、MRI 保守業務の解約)。

【大畑診療所】

- ・ 当初計画どおり平成 21 年度から指定管理者制度(利用料金制)を導入。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

【脇野沢診療所】

- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画よりも増額して実施。
- ・ 給与費については、定年退職者の不補充により、当初計画どおり削減。

【大間病院】

- ・ 当初計画どおり増収策(特定健診の受入れ及び CT 更新)及び経費削減策(病棟夜勤体制の見直し: 3 名体制→2 名体制)を実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画よりも増額して実施。

【佐井地区診療所】

- ・ 人件費については、当初計画どおり事務職の給与費削減を実施(給与 2%カット、期末・勤勉手当 3%カット)。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

【風間浦診療所】

- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画よりも増額して実施。

【東通地区診療所】

- ・ 一般会計からの繰入れにより、当初計画どおり資金不足はない。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A		754,186	788,713	1,075,585	1,662,216
解消実績額 B		749,347	—	—	—
現在計画 C		749,347	793,552	1,075,585	1,662,216
B-A 又は C-A		△4,839	4,839	0	0
資金不足額	5,975,406	5,226,059	4,432,507	3,356,922	1,694,706

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	51.8	44.7	45.1	38.4	28.9	14.6

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- 平成 24 年度末までに、むつ総合病院以外の病院及び診療所を所在市町村へ移管することについて検討。

兵庫県三木市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

1 医師の確保

- ・医師の確保については、大学の医局への派遣要請を継続するとともに、独自の人脈や民間の求人会社等の活用により医師の確保を進め、統合までに医師7名を確保し、皮膚科、脳神経外科の入院再開に取り組むこととしている。
- ・平成21年度は医師手当の引上げ（給料月額の20%）や医局秘書による医師の事務補助体制の導入などを実施した。

2 看護師の確保

- ・平成21年9月から7対1看護基準を導入し、質の高い看護を実施するとともに入院収益の増収が可能となった。
- ・この7対1看護体制を維持していくためには、看護師の確保に取り組むことが不可欠であり、平成21年度は柔軟な勤務形態の導入（二交代制と三交代制勤務の選択制の導入等）や看護キャリア開発室を設置し、教育専任課長を配置して教育体制の充実を図った。

3 地域連携の強化

- ・地域連携を深めることにより、診療所からの紹介患者の増加を図るとともに、入院患者が安心して転院できる相談支援体制を充実し、地域の医療機関から信頼される病院を目指した取組みを進めている。
- ・平成21年度は地域医療室を地域医療連携室に名称変更を行うと共にスタッフの増員を行い体制の強化を図り、診療所への営業訪問や地域連携室だよりの発行などを実施した。

4 人件費の削減

- ・平成21年度は、事務・医療技術部門の人員配置の適正化に取り組み、人員の削減を実施すると共に、平成21年7月より医師以外の職種の給与について平均7%カットを実施し人件費の削減を行った。

5 経費の削減

- ・平成21年度は、診療材料の他病院との共同購入の開始やジェネリッ

ク医薬品の使用拡大を進め経費の削減を図ると共に、各種経費等の見直しを実施した。

6 一般会計からの支援

- ・本計画では、病院が統合する時点での資金不足解消のためには地方公営企業法に基づく高度医療や救急医療等の不採算経費に関する一般会計からの繰入（10億円、ただし平成25年度は5億円）を継続するとしている。
- ・平成21年度は、当初計画どおり10億円の繰入を行い、さらに追加支援として9億円の長期貸付を行った。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度					
	計画初年度の 前年度	平成21年度 (計画初年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)
当初計画 A		136,100	△ 295,000	△ 10,000	60,000	1,160,000
解消実績額 B		269,985	-	-	-	-
現在計画 C		269,985	△ 295,000	△ 10,000	60,000	1,026,115
B-A又はC-A		133,885	0	0	0	△ 133,885
資金不足額	1,101,100	831,115	1,126,115	1,136,115	1,076,115	-

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度						
	計画初年度の 前年度	平成21年度 (計画初年度)		平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	23.6	20.6	17.9	23.7	21.7	20.7	-

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成22年度から、経営健全化計画の執行管理を行うため経営健全化推進本部を設置、推進本部は、市長を本部長、病院長を副本部長として組織し、目標設定による進行管理を行い、計画の確実な実行に取り組むことを決定した。

北海道釧路市 釧路市公設地方卸売市場事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A		47,949	47,665	85,918
解消実績額 B		52,377	—	—
現在計画 C		52,377	47,665	85,918
B-A 又は C-A		4,428	0	0
資金不足額	268,156	215,779	168,114	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	450.3	371.7	354.6	286.1	—	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

大阪府大阪市 中央卸売市場事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 収入における方策について
未利用地の処分を実施。(803.22 m²)
(収入額) 計画額 164 百万円 → 実績額 164 百万円

- ・ 支出における方策について
 - (1) 人員削減
(人員削減) 計画値 25 人 → 実績値 25 人
(人件費) 計画額 1,161 百万円 → 実績額 1,153 百万円 (8 百万円減)
 - (2) 業務委託化の推進と物件費の増加抑制
計画額 2,409 百万円 → 実績額 2,326 百万円 (83 百万円減)
 - (3) 投資的経費の見直し
計画額 2,278 百万円 → 実績額 2,098 百万円

- ・ その他の資金収支を改善する方策について
資本費平準化債の発行
計画額 1,518 百万円 → 実績額 1,518 百万円

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	平成21年度 (計画初年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A		936,864	1,723,266	1,651,809	1,235,306
解消実績額 B		1,349,452	—	—	—
現在計画 C		1,349,452	1,723,266	1,651,809	1,235,306
B-A又はC-A		412,588	0	0	0
資金不足額	12,658,410	11,308,958	9,585,692	7,933,883	6,698,577

年度 区分	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
当初計画 A	1,526,461	1,511,696	2,202,966	1,939,099
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	1,526,461	1,511,696	2,202,966	1,939,099
B-A又はC-A	0	0	0	0
資金不足額	5,172,116	3,660,420	1,457,454	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	平成21年度 (計画初年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	198.7	189.8	178.8	164.4	137.5
					116.2

年度 資金不足比率	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	92.8	68.7	32.0	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 仲卸業者の経営基盤強化策の実施
中小企業診断士などの専門家派遣相談の継続実施 等
- ・ 市場の情報化への取組み
電子商取引（販売原票データ等）テストを実施
- ・ 環境対策の推進
太陽光発電設備設置における実施設計完了 等

山口県岩国市 市場事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 市場経由率向上による取扱高の維持により市場使用料を確保。
- ・ 未利用地等の有効活用による施設使用料の増収。
- ・ 経常経費の徹底した見直しによる費用削減。
- ・ 一般会計からの繰入れを計画通り実施。
- ・ 市場内業者の経営基盤強化を図るため経営アドバイザーの依頼を決定（平成 22 年度から実施）。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A			450,730	437,576	483,766
解消実績額 B			457,411	—	—
現在計画 C			457,411	437,576	477,085
B-A 又は C-A			6,681	0	△6,681
資金不足額		2,307,876	1,850,465	1,412,889	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
		実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率		1,492.8	1,220.9	1,264.3	974.7
					—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 平成 28 年度の市債償還までは一般会計から繰入れ、平成 29 年度からは繰入金が無くても黒字化を予定。
- ・ 指定管理者制度の導入等についての研究・検討を進める。
- ・ 経営管理に精通した人材の育成や適正配置など、人事面での対策を講じる。

徳島県徳島市 食肉センター事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・計画の概略は、平成 22 年度から平成 25 年度までの 4 年間で総額 734, 129 千円の累積赤字を一般会計からの繰入によって解消し、資金不足比率を 0%とするもの。
- ・平成 21 年度は、当初計画どおり指定管理者制度を導入し、民間の経営感覚を生かした施設管理の効率化及び管理経費の節減を図った。

2 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)
当初計画 A		0	183, 533
解消実績額 B		—	—
現在計画 C		0	183, 533
B-A 又は C-A		0	0
資金不足額	734, 129	734, 129	550, 596

年度 区分	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A	183, 533	183, 533	183, 530
解消実績額 B	—	—	—
現在計画 C	183, 533	183, 533	183, 530
B-A 又は C-A	0	0	0
資金不足額	367, 063	183, 530	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	458.0	620.4	655.7	310.2	465.3

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
	計画値	計画値
資金不足比率	155.1	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・食肉センターの利用料金増収に向けて、指定管理者制度を有効に活用し、業界と一体となった取組みを進める。
- ・平成 22 年度に徳島県や関係団体で構成する「(仮称) 徳島市食肉センター活性化検討協議会」を設置し、本市食肉センターが県域における畜産振興や地域経済の発展に寄与する重要な施設という共通認識のもと、食肉センターの活性化について協議を進める。

青森県新産業都市建設事業団 桔梗野工業用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 他会計剰余金から長期借入を実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		527,844	206,900	198,729
解消実績額 B		527,844	-	-
現在計画 C		527,844	206,900	198,729
B-A 又は C-A		0	0	0
資金不足額	3,406,388	2,878,544	2,671,644	2,472,915

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 36 年度 (第 16 年度)
当初計画 A	198,748	198,767	198,785	198,955
解消実績額 B	-	-	-	-
現在計画 C	198,748	198,767	198,785	198,955
B-A 又は C-A	0	0	0	0
資金不足額	2,274,167	2,075,400	1,876,615	47,093

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	453.8	383.5	383.5	356.0	329.6

年度 資金不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	303.2	276.8	250.4

年度 資金不足比率	平成 36 年度 (第 16 年度)
	計画値
資金不足比率	6.5

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

青森県新産業都市建設事業団 金矢工業用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・県からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施。
- ・他会計剰余金からの一時借入の長期借入については、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)
当初計画 A		725,938	659,485
解消実績額 B		719,619	—
現在計画 C		719,619	665,804
B-A 又は C-A		△ 6,319	6,319
資金不足額	1,385,423	665,804	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	51.1	24.3	24.5	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

青森県新産業都市建設事業団 百石住宅用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・おいらせ町からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施。
- ・他会計剰余金からの一時借入の長期借入については、当初計画どおり実施。
- ・分譲1区画については、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		744,760	104,000	104,000
解消実績額 B		731,395	-	-
現在計画 C		731,395	104,000	104,000
B-A 又は C-A		△ 13,365	0	0
資金不足額	1,676,133	944,738	840,738	736,738

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)
当初計画 A	104,000	104,000	104,000	99,373
解消実績額 B	-	-	-	-
現在計画 C	104,000	104,000	104,000	112,738
B-A 又は C-A	0	0	0	13,365
資金不足額	632,738	528,738	424,738	-

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	980.9	562.3	563.4	542.0	493.3

年度 資金不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	440.4	382.8	319.8

年度 資金不足比率	平成 30 年度 (第 10 年度)
	計画値
資金不足比率	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

奈良県奈良市 宅地造成事業費特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・当初計画どおり議会の議決を経て平成 22 年度に「第三セクター等改革推進債」を発行予定。許可を得た後は当該会計の借入金を全額返済し速やかに会計を閉鎖する。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)
当初計画 A			△27,096	1,171,978
解消実績額 B			5,437	—
現在計画 C			5,437	1,139,445
B-A 又は C-A			32,533	△32,533
資金不足額		1,144,882	1,139,445	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)
	計画初 年度の 前年度	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	実績値 30.6	計画値 35.5	実績値 34.5	計画値 —

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・会計閉鎖後に即時に保有地の処分等を行えるように、保有地の現状を再確認するとともに、適切に引き継ぎを行えるよう各課との検討会議を逐一実施している。
- ・市民や議会の理解を得るためにできる限り今後の計画方針等を公表する準備を進めている。

鳥取県米子市 流通業務団地整備事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・平成22年3月に流通業務団地整備事業経営健全化計画を策定。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成21年度 (計画初年度)	平成22年度 (第2年度)	平成25年度 (第5年度)
当初計画 A		△130,252	119,857	2,641,904
解消実績額 B		△240,602	—	—
現在計画 C		△240,602	229,165	2,019,484
B-A 又は C-A		△110,350	109,308	△622,420
資金不足額	2,166,546	2,407,148	2,177,983	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成21年度 (計画初年度)		平成22年度 (第2年度)		平成25年度 (第5年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	54.4	56.9	60.6	63.5	—	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・流通業務団地の規制緩和を始め、分譲価格の検討、事業用定期借地区画の拡大等により企業進出の促進を図る。
- ・資金不足の解消に向けて、一般会計から繰入れを行う。

香川県坂出市 坂出港港湾整備事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・当初計画のとおり臨海部土地造成事業を会計分離し、第三セクター等改革推進債により事業を廃止した。
- ・当初計画のとおり、一般会計から繰出し(50,000千円)を行った。
- ・基金からの資金運用をおこない、一時借入金利息の負担軽減をおこなった。
- ・港の利用率向上を図るため、パンフレットの作成、ホームページの作成を行った。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度 計画初年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A		1,074,136	47,530	48,012	51,134
解消実績額 B		1,078,729	—	—	—
現在計画 C		1,078,729	47,530	48,012	51,134
B-A 又は C-A		4,593	0	0	0
資金不足額	1,220,812	142,083	94,553	46,541	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度 計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	4,375.0	623.6	579.6	386.4	190.2	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・第三セクター等改革推進債を活用し、臨海部土地造成事業を廃止した。
- ・整備工事費節減(△3,566千円)、および埠頭用地、野積場使用料収入が増加(992千円)したことにより、資金不足比率が計画値623.6%に対し579.6%となっている。

青森県黒石市 下水道事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 昭和 55 年度から平成 3 年度までの間に旧大蔵省及び旧公営企業金融公庫から借入れした利率 5%以上の地方債について、当初計画どおりより低利率な民間資金への借換えを実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A			△88,401	33,692	1,072,139	509,259
解消実績額 B			△60,820	—	—	—
現在計画 C			△60,820	33,692	1,072,139	509,259
B-A 又は C-A			27,581	0	0	0
資金不足額		1,526,689	1,587,509	1,553,817	481,678	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
	計画初 年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	実績値	515.1	540.8	534.3	528.9	154.9
						—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 水洗化促進及び使用料収入確保のため、未水洗化全世帯に接続要請を実施。

青森県田舎館村 下水道事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。
- ・ 経常経費の削減合理化については、使用料徴収業務の見直しによる委託料の削減及び補償金免除繰上償還による支払利息の削減を当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)
当初計画 A		180,879	86,046
解消実績額 B		191,433	—
現在計画 C		191,433	86,046
B-A 又は C-A		10,554	0
資金不足額	274,079	82,646	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	283.3	90.6	80.8	6.9

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

和歌山県白浜町 下水道事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 接続率の向上については、当初計画どおり町広報誌やコミュニティラジオ放送を利用した啓発活動、接続普及促進員を中心とした戸別訪問を実施。
(H21 年度末 下水道接続率 61.1%)
- ・ 料金改定については、当初計画どおり H23 年 4 月からの料金改定（平均改定率 14%）実施に向け、下水道条例の一部改正を実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。
- ・ 経費削減については、当初計画どおり職員数を最小限度に抑えると共に、民間委託を引き続き実施。

2 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		265,647	45,811	32,708
解消実績額 B		294,854	—	—
現在計画 C		294,854	45,811	3,501
B-A 又は C-A		29,207	0	△29,207
資金不足額	344,166	49,312	3,501	—

3 資金不足比率の状況

（単位：%）

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度 実績値	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	355.2	78.1	49.2	31.5	—	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 公債費負担の軽減を図るため、公的資金補償金免除繰上償還制度を活用し、高金利地方債の借換えを実施。

青森県弘前市 岩木観光施設事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 料金体系の見直しについては、検討の結果、現状維持。
- ・ 入込客数については、ニーズに合わせた商品及びサービスの充実、底辺拡大イベントの開催を実施した結果、前年度より増加。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。
- ・ 大規模改修については、経費支出の平準化と軽減を図るため、計画的なメンテナンススケジュールを組んで実施。
- ・ 指定管理内容の検討については、平成 22 年度から見直しを実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A			10,994	9,261	130,272
解消実績額 B			6,793	—	—
現在計画 C			6,793	9,414	134,320
B-A 又は C-A			△4,201	153	4,048
資金不足額		664,747	657,954	648,540	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画初 年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	実績値	1,879.4	1,789.4	2,106.3	1,815.4
					—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 弘前市内の 4 スキー場の必要性やあり方等については、庁内関係課による検討会議を立ち上げて検討開始(平成 22 年度中に今後の方向性を決定する予定)。

青森県黒石市 温泉供給事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 事務管理委託料の見直しについては、当初計画どおり経費節減を実施。
- ・ 料金改定については、当初計画どおり実施。(平成 21 年 7 月から改定率約 30%)
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A		21,065	24,521	25,572
解消実績額 B		24,731	—	—
現在計画 C		24,731	24,521	25,572
B-A 又は C-A		3,666	0	0
資金不足額	165,435	140,704	116,183	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	1,417.3	991.7	955.0	815.4	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

青森県黒石市 観光施設事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A			28,058	28,622	27,648
解消実績額 B			31,695	—	—
現在計画 C			31,695	28,622	27,648
B-A 又は C-A			3,637	0	0
資金不足額		204,686	172,991	144,369	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画初 年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	実績値	9,308.1	8,032.2	8,163.8	6,730.6
					—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

青森県大鰐町 温泉事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 経費の削減については、各種補助金等を活用して、施設の計画的なメンテナンスを行い、当初計画どおり維持管理費を抑制。
- ・ 料金の改定等については、既得権者が組織する温泉利用協同組合との交渉を実施（補償供給の需給権利量分（無償）以外について理解を得た。）。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A		77,105	67,491	64,838	40,398
解消実績額 B		77,862	—	—	—
現在計画 C		77,862	68,594	66,109	37,267
B-A 又は C-A		757	1,103	1,271	△3,131
資金不足額	249,832	171,970	103,376	37,267	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	1,441.8	997.3	962.2	999.2	349.2	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 料金体系改善に向けた受給権利者との協議を継続中。

青森県大鰐町 休養施設事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 経費の削減については、当初計画どおり平成 21 年度末をもって施設の営業を休止。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		31,751	64,053	230,152
解消実績額 B		30,193	—	—
現在計画 C		30,193	65,325	230,438
B-A 又は C-A		△1,558	1,272	286
資金不足額	325,956	295,763	230,438	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	316.1	252.4	274.3	※	—

※平成 22 年度は、おおわに山荘の営業休止により事業規模が 0 (ゼロ) のため、資金不足比率は算定されない。

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 平成 23 年度末の会計廃止に向けて、施設の譲渡及び転用等の有効活用策を検討中。

石川県白山市 観光事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 金沢セイモアスキー場については計画どおり、繰上充用金の全額解消を実施。(平成 22 年度から一般会計へ移管)
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画より 632 千円を増額。
- ・ 金沢セイモアスキー場に関連する(株)セイモア内尾について、清算に向けて法人所有の建物を市が取得。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A		502,743	0	200,000	170,675
解消実施額 B		503,375	-	-	-
現在計画 C		503,375	0	200,000	170,043
B-A 又は C-A		632	0	0	△632
資金不足額	826,498	370,043	370,043	170,043	-

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	202.7	88.5	85.4	121.1	-	68.3	-

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 平成 22 年度当初予算において、金沢セイモアスキー場の運営経費の経理内容を明らかにするため、一般会計の予算科目にスキー場費を設ける。
- ・ 行政評価システムの構築として、指定管理者からの報告及び現地調査などにより、仕様書に基づくサービスの提供が確保されているかを確認・指導。
- ・ 市民等の理解と協力を得るため経営健全化計画を市HPに掲載。

奈良県奈良市 針テラス事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・簡易裁判所において調定を行うも不調に終わったため提訴し、現在係争中。
- ・委託先に対する土地使用料の催告書の送付や、委託料と未納額との相殺を行う等して収入の確保に努める。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)
当初計画 A			△49,194	187,439
解消実績額 B			△29,194	—
現在計画 C			△29,194	167,439
B-A 又は C-A			20,000	△20,000
資金不足額		138,246	167,440	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)
	計画初 年度の 前年度	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	実績値 276.4	計画値 624.8	実績値 334.8	計画値 —

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・土地使用料の一括精算を最低条件とする和解案を提示した。
- ・起債の支払利息の軽減措置として低利への借り換えを実施する。

奈良県宇陀市 保養センター事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 指定管理者制度導入に向け、条例改正等の条件整備に着手。
- ・ 一般会計からの繰入れについて、当初計画どおりに実施した。
- ・ 企業債償還金及び同支払利息と一時借入金支払利息で一般会計の繰入れとほぼ相殺したため、繰入れの投入効果が余り出なかった。
- ・ 新型インフルエンザ等の影響もあり、営業収益が当初計画より減収するとともに、流動負債の一時借入金の増加で、資金不足額及び資金不足比率が対前年度比で増加に転じた。

2 資金不足解消の状況

（単位：千円）

区分	年度	計画初年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画	A		98,216	49,691	△143,356
解消実績額	B		43,911	—	—
現在計画	C		43,911	49,691	△143,356
B-A 又は C-A			△54,305	0	0
資金不足額		1,276,441	1,232,530	1,182,839	1,326,195
区分	年度	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 32 年度 (第 12 年度)	
当初計画	A	71,613	167,667	153,247	
解消実績額	B	—	—	—	
現在計画	C	71,613	167,667	153,247	
B-A 又は C-A		0	0	0	
資金不足額		1,254,582	718,619	98,580	

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 区分	計画初年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	275.1	267.8	291.2	262.8	265.2
年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)		平成 32 年度 (第 12 年度)	
	計画値	計画値		計画値	
資金不足比率	236.7	135.5		18.5	

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置状況

- ・ 総務省の地方公営企業経営アドバイザー事業を実施した。
- ・ 個別外部監査契約に基づく個別監査を実施した。

和歌山県串本町 国民宿舎事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・当計画では、平成20年度決算時に194.1%であった資金不足比率を、一般会計から繰り入れを行うことによって0%にする計画としている。
- ・当会計では、企業債の元利償還金に対して繰り入れを行っているが、平成27、28年度に当該元利償還金が減少するため、その減少分を通常の不良債務解消分18,501千円に上乘せすることにより、平成28年度までにその全額を解消する計画としている。
- ・平成21年度はほぼ計画どおり、資本的収入に16,526千円、収益的収入に25,050千円、合計41,576千円の繰り入れを行った。
- ・平成20年度末で162,797千円であった不良債務が21,076千円減少し、141,721千円となったが、資金不足比率については、指定管理者の営業収益（事業規模）が83,865千円から66,600千円に減少したことから、212.7%に上昇した。

2 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成21年度 (計画初年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画A		15,935	18,501	18,501	18,501
解消実績額B		21,076	—	—	—
現在計画C		21,076	18,501	18,501	18,501
B-A又はC-A		5,141	0	0	0
資金不足額	162,797	141,721	123,220	104,719	86,218

年度 区分	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
当初計画A	18,501	18,501	22,350	32,007
解消実績額B	—	—	—	—
現在計画C	18,501	18,501	22,350	26,866
B-A又はC-A	0	0	0	△5,141
資金不足額	67,717	49,216	26,866	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初年度の前年度	平成21年度 (計画初年度)		平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	194.1	175.1	212.7	153.1	131.0	108.9

年度 資金不足比率	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	86.9	64.8	38.2	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成22年度より新たな指定管理者により国民宿舎の運営を行っている。指定管理者に毎月業務報告を行わせ、経営状況を厳しくチェックし、適正な業務運営の確保及びサービス水準の維持向上に留意し、経営基盤強化に努める。

山口県美祢市 観光事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ テレビ、ラジオスポット等による効果的、積極的な広告宣伝や観光キャンペーン等を展開。
- ・ 秋芳洞開洞百周年祭記念事業等の積極的なイベントの開催。
- ・ 秋芳洞・秋吉台のPRを行い修学旅行等の団体客誘致活動を展開。
- ・ 施設ごとの特性を活かしたサービスの充実や積極的な情報発信。
- ・ 秋芳洞案内業務の職員2名を減員し、委託職員で対応。
- ・ 閑散期の勤務シフト及び業務内容の見直し。
- ・ トロン温泉について閑散期の営業時間を1時間短縮。
- ・ 秋吉台家族旅行村以外の施設への指定管理者制度拡大の検討。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)
当初計画	A		159,138	252,854	66,689
解消実績額	B		221,882	—	—
現在計画	C		221,882	252,854	66,689
B-A 又は C-A			62,744	0	0
資金不足額		1,312,648	1,090,766	837,912	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度	計画初年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)
資金不足比率	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	169.5	141.1	135.2	113.1	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 平成 22 年度策定的美祢市観光振興計画の中で観光事業の収益拡大を位置付ける予定。
- ・ 養鱒場について、鱒の販路拡大、経常経費の削減等の取組みを実施。
- ・ 経営管理能力向上のため、研修セミナーに積極的に職員を派遣。
- ・ 横断的かつ柔軟な人事配置が可能な体制の構築について検討。

高知県高知市 国民宿舎運営事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・計画では、平成21年度の収益的収入については323,357千円、収益的支出については319,018千円と見込んでいたが、新たな企画プラン、レストラン及び売店商品の充実や経費削減努力により、収益的収入の実績額については330,553千円と計画を上回り、収益的支出の実績額についてはほぼ計画どおりとなったため、計画と比較して、収益的収支については6,721千円の増加となり、資金不足額については7,820千円の減少となった。
- ・平成21年度の資金不足比率については、資金不足額が減少し、事業規模が拡大したことから、計画値248.0%に対し、実績値240.2%と改善した。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度の 前年度	平成21年度 (計画初年度)	平成22年度 (第2年度)	平成31年度 (第11年度)
当初計画 A		△35,907	△97,249	136,497
解消実績額 B		△28,087	—	—
現在計画 C		△28,087	△97,249	136,497
B-A 又は C-A		7,820	0	0
資金不足額	765,310	793,397	890,646	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率 \ 年度	計画初年度の 前年度	平成21年度 (計画初年度)		平成22年度 (第2年度)	平成31年度 (第11年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	238.0	248.0	240.2	250.5	—

※平成21年度の計画値と実績値の差異については、資金不足額の減少及び事業規模の拡大による。

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成22年度から15年間にわたり改築資金の起債元金について一般会計からの繰入を行い、資金不足比率の改善を図る。

北海道釧路市 釧路市設魚揚場事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・光熱水費等の施設管理費の削減については、当初計画どおり実施。
- ・一般会計からの繰入れについては、概ね当初計画どおり実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)
当初計画 A		287,301	281,218	297,934
解消実績額 B		279,469	—	—
現在計画 C		279,469	281,218	297,934
B-A 又は C-A		△7,832	0	0
資金不足額	2,913,900	2,634,431	2,353,213	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 30 年度 (第 10 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	2,933.9	2,854.7	3,320.5	2,555.4	—	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況